

I

■出題のねらい

数学Ⅰ、数学Ⅱより、集合、二次関数、三角関数とデータの分析を主な題材として、基本的な知識と計算力を問いました。

■採点講評

- (1) よくできていましたが、大小関係の指定にしたがっていない答案も散見されました。問題文をよく読み、慎重な導出と確認を心がけましょう。
- (2) 多くの受験生が完答していましたが、符号の間違いや計算間違いと思われる答案が散見されました。基本事項をしっかり身に付けて、見通しよく導出を行う練習をしておきましょう。
- (3) (1)(2)(4) に比べて正解できた受験生が多くありませんでした。 θ の範囲を見落としていると思われる符号の間違いが散見され、大きく差が開く結果になりました。練習を繰り返して、注意すべき点をよく把握しておくようにしましょう。
- (4) はよくできていましたが、 の正答率がやや低くなりました。練習を繰り返し、教科書の記述をよく確認しておきましょう。

II

■出題のねらい

数学Ⅱより、加法定理および円に関する基本的な知識と計算力を問いました。

■採点講評

- (1) 概ねよくできていましたが、計算間違いや θ の範囲を考慮していない解答が散見されました。
- (2) , は概ねできていましたが、, の正答率はやや低くなりました。図形に関する問題では、適切に図示して問題を解くようにしましょう。 では計算ミスが散見されました。

III

■出題のねらい

数学Ⅱの微積分の内容から、極値や直線との共有点、定積分などの基本的な知識と計算量を問いました。

■採点講評

- (1) よくできていました。 $f(x) =$ の式の続きに $f(x)$ を微分した式を書いている誤答が散見されました。
- (2) よくできていました。
- (3) 概ねよくできていましたが、積分の式の中で「 dx 」を書いていない、定積分に積分定数 C を加えているなどの誤答が散見されました。(1)も同様に、記述式の問題では途中式も見られます。正しく書けるよう練習しておきましょう。